

萬 亀

B A N K I

2024年9月

vol. 147



[特集]

山門大施食会

この秋 感謝の法要へ



もくじ

- 1 住職挨拶
- 3 [特集]
山門大施食会
この秋 感謝の法要へ
- 7 万象供養感謝祭とは
- 8 輪島だより
- 9 暮らしをととのえる
お寺のおはなし
- 10 東長寺こども食堂
- 11 お知らせ
- 15 山内行事
- 17 東長寺基本情報/
読者のひろば
- 18 結の会のご案内

住職挨拶

影響を受けた人物の中には実際に会ったことがある人、また

さったその姿は私のヒーローとして今も心に残っています。

そうではない人もあるかと思えます。妻の恩師である映画プロデューサーの方が昨年末に亡くなったのですが、その方を見出した映画監督が、本年日米それぞれでアカデミー賞を受賞し、登壇時に胸に遺影を持っていらっしやった姿を見て、私も一度お会いしてみたかったと改めて思いました。息子が生まれた際に、彼を胸に抱えて写真を撮ってく

多くの青年がそうであるように、私も学生時分は沢山の映画を見て関連の雑誌などを読む中で、その方が残された言葉に幾度も感銘を受けていたわけですが、自身の生き方や思想というのは幾重にも重なる因縁生起によって育まれていくものです。まさか学生時代の私には、将来自分に子供が生まれ、その方が我が子を抱いてくださるなどとは想像出来るは



ずもありませんでした。しかし今いる私自身もあまねく無数に存在する土台の上で生きていて、これがまた新たな土台となって次の縁起へとつながるわけです。

仏教の本質とはお釈迦様の姿を信奉することではなく、その方が生前に感じられたこと、残したことをその弟子達が脈々たる縁の繋がり合いと綿々たる時間をかけて現代に伝え、次世代に伝えてきた歴史と縁を尊むことに他なりません。誰もがいつかは誰かの思い出の中に生きていく。2500年は決して短くありませんが、一年でも長く故人の記憶を次世代に伝えていきたいと思えます。

本年十一月三日、文化の日に
お勤めする東長寺大施食会は、まさにそのあまねく全ての命の上に私たちは立っていることに気づき
供養を通じて感謝し、施しを行う

法要です。隣方の御住職さま方々が一堂に集まり、皆様のご先祖さまを初め、あまねく全ての命に対して供養をしてくださる年に一度の寺院にとって最も尊い供養の機会でございますから、ぜひ皆様にも御参詣願いたく存じます。

東長寺の伝統行事として五十年以上続いている法要でございますが、本年より広く檀信徒全ての方を対象に御参列いただける年分行事と致しました。暑い夏も過ぎ、穏やかな陽気に包まれる頃、山内でお配りしますお弁当を召し上がっていただきながら、または年の瀬を前に翌年の準備を始める木々達が並ぶ新宿御苑に立ち寄って季節を感じる日として、檀信徒皆様の恒例行事として頂きたいと存じます。山内一堂皆様のお参りをお待ちしております。 合 掌

東長寺住職 瀧澤遥風

[特集]

山門大施食会

さん

もん

だい

せ

じき

え



この秋 感謝の法要へ

開催日

11月3日

日・祝

長きにわたり「文化の日」におつとめしてきた東長寺の山門大施食会。

禅宗の寺院では、お盆やお彼岸を超えて最も重要とされている大法要です。

今年より初めてすべての檀信徒の皆様で、ご一緒に執り行うことにいたしました。

当日は法要に先立ち、輪島屋善仁・中室耕二郎氏による特別講演も開催。

1月の能登半島地震後、たくさんのご支援をお寄せいただいた檀信徒の皆様

輪島の現在の様子や今後の課題、皆様への感謝を直接お伝えいたします。

「食(食事)を施す法要」と書き示す施食会。この「食」とは、すなわち「供養の心」。

そして、施しを手向けるのは「すべての生命」です。

生きとし生けるものすべてに供養を施し分かち合う大きな大きな回向の輪に、

檀信徒皆様お揃いでご参列くださいませ。

唵 麼 呢 嚩 日 哩 吽
 北方多聞天王
 西方廣目天王
 南無多寶如來
 南無妙色身如來
 南無甘露王如來
 南無廣博身如來
 南無輪飾畏如來
 東方持國天王
 南方增長天王
 唵 麼 呢 呾 哩 吽 泮 吒

年に一度 最も重要な大法要です

山内外の僧侶が集い施す供養の力



施食会で水の苑を向く理由
 須弥壇に背を向けることは普段の法要ではありえないこと。しかし施食会に限っては、水の苑にむかって施食棚を設けて供養をいたします。これは、当山に眠る仏様に留まらず、山内外のあらゆる諸精霊を呼び寄せ供養するためなのです。

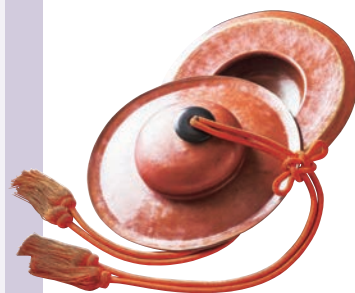
施食会は経典にその由来が残されているほど、由緒の古い法要です。長い歴史の中で、少しずつ形を変えて今に伝えられてきました。仏教伝来以来、日本の歴史は地震や干ばつ・冷害などの自然災害や戦が繰り返され、飢えや疫病によって多くの方が亡くなりました。犠牲となったおびただしい命に向けて、残された人々が河原や大寺院に集い合い、繰り返し行われてきた追善供養が、施食会の原型とされています。

それゆえに、施食会では山内僧侶だけではなく近隣の寺院のご住職や僧侶の方々にもお力を頂き、さらにはすべての檀信徒の皆様と揃って「この世のあらゆる諸精霊(仏様)」のご供養をいたします。折々に法要をおつとめしている東長寺においても、普段は目にするのではないほど大勢の僧侶の方々が力を合わせ施される、圧倒的な供養の力を感じていただければと思います。



法要を彩る賑やかな「鳴らしもの」

音の鳴る仏具「鳴らしもの」がたくさん用いられるのも施食会の特徴です。その大きな音は、法要の始まりに諸精霊を呼び集め、終わりにはもといたところへ戻るように促すためのもの。ご参列の際には、力強い読経と共に響くその音色にも耳をそばだててくださいませ。



施食会ご参列に関する詳細情報は16ページ「山内行事」をご覧ください。

視野を広げると自らが見えてくる

施食会が感謝の法要と呼ばれる理由

肉親や知人を供養する盂蘭盆会やお彼岸と異なり、施食会ではまず、普段は顧みられず供養されることのない「無縁の仏様」すなわち「諸精霊」を供養いたします。縁の無い存在を供養すると聞くと、実感の湧かない話で「むずかしい」と感じる方もいるかもしれませんが、それは、すこし視野を広げて考えてみましょう。

「いまは一人で生きている」「自立して生活している」という方でも、周囲には「誰か」や「なにか」があなたを支えていることでしょうか。また一人で生きているという思いがあ



ったとしても、そのどなたにも父母があり、その父母にもそれぞれに父母があり、さらにはその父母というような存在があったこととは違いはありません。そして、かつてそれらのご先祖さまもそれぞれに、肉親に限らない周囲の「誰か」や「なにか」を拠り所にしてその生命を全うしてきたことでしょうか。つまり、今のあなたがあるのは無数の有縁無縁のご縁を経てこそ成り立っているということです。

無縁の生命へ施す施食会。それは、今を生きる誰しもが、それまでは知ることはおろか気づくきっかけさえなかった存在に、あまねく施す機会を得る「きっかけ」です。個人にとどまらない大きな感謝の対象を思い、ぜひ今年の施食会を自らを省みる機会としてください。そして法要の際には、今を生きている感謝の気持ちを込めて、お焼香をいたしましょう。

緑の会・結の会

あなたのための施食幡

緑の会・結の会の皆様に向けて施食会では「施食幡」をご用意しております。施食幡は緑・黄・赤・白・紫の五色に彩られた短冊状の色紙で、山内僧侶が会員様のお名前を一枚いちまい書き込みいたします。会員様ご本人に連なる諸精霊を供養する証としてお申し込みください。



本堂に並ぶ施食幡(過去の法要の様子)

御とうばや施食幡の申し込み方法も合わせて、詳しくは16ページ「山内行事」をご覧ください。

東長寺×築地つかごし謹製

施食会では特製のお弁当をご用意します

これまで施食会ではご参列の皆様にお弁当をご用意し、法要の前後に山内の食堂にて召し上がっていただいております。今年のお弁当を手掛けるのは、懐石料理 塚越のお弁当ブランド「築地つかごし」。山内法要の仕出し料理もおまかせしている同社にご協力いただき、東長寺の施食会用に特別メニューをご用意いただく予定です。施食会の「食を施す」という由来と共に、味わっていただければ幸いです。

※用意の都合上、ご参列の人数などを事前お申し込みにて伺います。詳しくは16ページ「山内行事」の情報をご覧ください。

※お弁当は山内食堂でお召し上がりください。お持ち帰りの場合は消費期限に十分注意し、当日はなるべくお早めにお召し上がりください。



※イラストはイメージです。
実際のお弁当とは異なります。

施食会に続くお弁当の伝統

コロナ禍の影響で内献が続いた施食会では、お弁当のご用意も途絶えておりました。ささやかながら再開できたことは、喜ばしいことと思います。かつて大勢の方が参列されていた昭和の頃は、ご参列者が食堂に収まらず、お焼香を済ませたあとに新宿御苑に移動されて、青空の下でお弁当を召し上がる方もあったとか。今年も皆様楽しんでいただければと願っています。

本年特別企画 輪島屋善仁・中室氏講演

皆様に直接お伝えしたい 感謝そして輪島の今

元日に発生した能登半島地震。その後、1ヶ月に満たないうちに檀信徒皆様から輪島屋善仁に向けて多大なるご寄付が集まりました。同工房の方々より皆様へあふれる感謝の言葉をお預かりしています。一方で工房を率いる9代目当主の中室氏は、輪島と輪島塗文化の未来は楽観できない状況ではないといえます。時間の経過とともに被災地の様子を伝える報道が減るなか、お気持ちを寄せてくださった皆様に現地の様子をしっかりとお届けする機会といたしまして、今年の施食会にて中室氏による講演「輪島塗の歴史、現状、輪島のこれから」を開催いたします。

東長寺住職も「親方のファン」と語る中室氏のお話。ぜひ皆様で拝聴し、輪島にエールを送りましょう。



Profile

中室耕二郎氏

創業1813年の輪島塗製造元「株式会社 輪島屋善仁」の9代目当主。震災翌日から工房復旧に向けたアクションを開始し、走り続けています。漆芸史上最高のものづくりを目指す静かで力強い眼差しに、職人・顧客から厚い信頼を集めています。

山門大施食会ご参列に際しお弁当の準備などの都合上、事前のお申し込みをお願いしております。

開催日

11月23日

土・祝

ばん しょう く よう かん しゃ さい 万象供養感謝祭とは

昨年より新たに始めた東長寺ならではの供養のかたち。
それが「万象供養感謝祭」です。

この法要では、あなたを取り巻く生きとし生けるものすべてに感謝し供養いたします。

とりわけ、これまでは無かった取り組みとして

近年多くの方々の心の支えとなっているペットの供養を

この法要にかぎり、おつとめいたします。

人の存在を支えているものは、自らや周囲の「人」によるものだけとは限りません。

かつてペットとかけがえのない時間を過ごしたことがあります

その生命に感謝の供養を施したいと願う方は

お檀家様も縁の会・結の会の会員様も隔てなく、どなた様もご参列ください。

すべての檀信徒様に
ご参列いただける
法要です



お檀家様も縁の会・結の会の
会員の皆様もどうぞご参列くだ
さい。自らを支えてくれた幾多
の存在への感謝を胸に、お焼
香をいたしましょう。

この法要に限り
ペットの花とうばを
承ります



花とうばは、結の会「ペット共
葬」をお約束した結の会会員様
に限らず、どなたもお申し込み
いただけます。ご希望の方は
お電話にてご用命ください。

東長寺代表
☎ 03-3341-9746

法要は
しがくどう
文由閣5階「慈嶽堂」
にておつとめします



会場となる文由閣は本院とは別
の建物になりますので、ご注意
ください。文由閣の本堂である
「慈嶽堂」は、最上階となる5階
にございます。

万象供養感謝祭ご参列に関する詳細情報は16ページ「山内行事」をご覧ください。

輪島だより

お互いを思い、ともに歩むための

vol.2

東長寺は輪島屋善仁を
応援しています

山内各所のしつらえや、お位牌制作を手がけてきた「輪島屋善仁」。復興に向け歩む同社の一助となるよう、様々な支援活動をお寺で行っています。

復興へ 道のりは長く

地震発生から半年以上が経ちました。時が止まったかのような風景が残る町で輪島塗の職人たちは、その文化を途切れさせまいと力を尽くしています。



7月1日の工房周辺。傾いた倉庫や電柱が残されています。
写真提供：いずれも輪島屋善仁



修復された水の苑漆画

職人が復帰し お位牌の制作が再開

8月の厳しい暑さが続く頃。輪島市内では倒壊家屋の解体・撤去が進まず輪島屋善仁の全壊した倉庫も傾いた姿のまま。同社職員の方からは「改めて復興は長丁場になると感じている」との声が聞かれました。工房ではこれまでに3人の職人が復帰できた一方で、残念ながら2人の職人が工房を去ることになったといいます。改めて状況を伺うと「臨時作業場なのでやや不自由な環境ではありますが、製作の方もどうかそれなりに軌道に乗ってきたところだと思います」とのお答えに明るい兆しを感じました。その後、工房では東長寺から依頼しているお位牌の塗り替えや制作が再開。現在では震災前と同様のペースで納品いただくようになり、安堵とありがたさを感じております。新会員の皆様も、お位牌の

完成を安心してお待ちいただければと思います。また、昨年10月まで水の苑を飾っていた漆画「四季」は、定期修復のために輪島の工房で保管していましたが震災を乗り越え、無事修復作業を完了できたと嬉しい知らせもいただきました。
「皆様からのご支援に、本当に感謝の言葉しかありません」と語る輪島屋善仁の皆さんですが、復興はおろか復旧も道半ばという輪島の状況に胸が痛みます。今後も東長寺では檀信徒の皆様が参加しやすく、現地の励みとなるような支援を続けていきたいと考えております。

震災後の輪島屋善仁で生まれた最初の作品

これはなんでしょう？



これは「如意(にょい)」という法具の一種。不思議な形の起源は「孫の手」とされ、「苦痛を取り除く仏の教え」を象徴しています。この如意は震災後の混乱の最中、職人たちが「それでも最高の漆芸作りの手を止めてはならない」との一心で企画し、完成させたのだといいます。予期せぬことに驚きながら「これは100年後にも伝わる、最高の輪島作品」と大切にお受け取りいたしました。折を見て実物とともに皆様にご紹介できたらと考えております。

秋開催
予告

輪島塗でいただく精進料理の会

見て触れて、味わって
楽しみながら輪島を支援しましょう

お箸、お椀、お膳にいたるまで輪島塗にて召し上がっていただく精進料理の会です。漆器のやさしい質感もお楽しみいただけます。どうぞご予約の上ご参加ください。参加費の一部を輪島屋善仁復興のために寄付いたします。

開催日：10月25日(金) 11:30より受付
会費：12,000円(内、1万円を寄付いたします)
定員：限定16名様
会場：本院書院(椅子席となります)
参加方法：お電話にてお早めにご予約ください

☎ 03-3341-9746

開催済 チャリティーイベント報告 歌とフルートのコンサート



「仏教讃歌を歌う会」の講師をつとめる声楽家の高部さちさんがチャリティコンサートを5月に開催しました。文由閣に優しく満ちる歌声を、中島恵さんによるフルートの音色と共に、たくさんのお客様にお楽しみいただきました。

暮らしをととのえる

お寺のおはなし

お寺で見つける五つの色



東長寺精進料理の会では、輪島塗の感触も楽しみのひとつ。
参加費の一部を輪島支援に寄付いたします。詳しくは8ページをご覧ください。

今

回の萬亀紙面には、緑・黄・赤・白・紫から成る五つの色

色がそこかしこに躍っております。華やかな色合いに驚いた方もあるかもしれません。この五色は仏教寺院には馴染み深いもので、施食てしじくの際にも施食棚の上を飾る五ご如来幡にょらいばんや、皆さまざま承る施食幡てしじくばんに用いられております。それぞれの色がお釈迦様の体の部位や衣を表しており、緑あざ(または青)が毛髪、黄色は身体、赤は血液、白は歯、そして紫むらさき(または黒くろや樺色かば)は袈裟の色を示しています。また、五色すべてが集まると、お釈迦様そのものを表す「ひとつの色」と考えます。お寺でこの五色をみつけたら、その由来を思い、感じてみてください。この世を彩る数々の色は、いわばお釈迦様の「かけら」であり、すべての生きとし生けるものみなには仏性があるのだと。

* * *

普段の生活では、揃って見るこ

とがないように思われるこの五色。ですが、毎日の食卓に取り入れてみるとぐっと親しみやすくなります。たとえば、ほうれん草のお浸しひたし(緑・青)、かぼちゃ煮黄かぼちやにう、梅干しうめぼし(赤)、ごはんごは(白)、海藻かいそう(紫・黒)のお味噌汁といったお献立。食材そのものがそなえ持つ自然な色の美しさを感じながら組み合わせれば、単なる見た目の華やかさだけでなく、栄養のバランスも整うことでしょう。この視点は、精進料理においても「五味五法五色」と称して取り入れられています。

* * *

さて、夏期の開催がコロナ感染拡大の影響もあり中止になってしまった東長寺精進料理の会。秋の開催を目指し、あらためて参加者を募っております。輪島塗の朱いお膳に、季節の野菜を活かしたお料理をご用意いたします。どうぞお食事の色合いも楽しみに、皆様誘い合ってご参加ください。



とうちょうじ しょうどう 東長寺こども食堂



子連れの方ならどなたでもご利用いただける、食事の場と、遊び、学びの場を提供するためにボランティアスタッフが運営しています。

こども、そして保護者にとっての居心地のよい場所であることを大切にしています。

※詳しくはお電話またはInstagram、Facebookよりお問い合わせください。

Instagramは
こちら！



Facebookは
こちら！



食材を洗うのも火入れもしっかりと。
イートインのお皿に彩りよく並べます。



お寺で親友と一緒に！ 食卓に集まる小学生

今年も梅雨明けの声を聞く前から
厳しい暑さとなりました。

こども食堂で一番怖いことは食中毒。夏季は特にリスクが高まることから、持ち帰り可能な世帯を限定し、イートイン利用を中心としています。持ち帰りの場合にも、受け取りに来てからおかずを仕上げて、詰めたてのお弁当をお渡しするようにしています。

ます。少しずつですが、お寺で食べることを楽しんでくれる家庭も増えてきました。いつもお弁当を喜んでくださる声を頂いています。食べたいお顔が見えるのは格別にうれしい思いがいたします。

先日は小学生5人組の来店がありました。4月末より小学3年生以上に限り、こどもだけの利用も受け入れていきます。こどもだけの場合、お寺の中のことは配慮ができて、往復の安全など、目の届かないところでのリスク管理は難しく悩ましい問題です。安全対策の堅苦しいくらいルールのためか、なかなか反応がなかった。心待ちの来店でした。

はじめてのこどもだけのお客様、小学生5人組は同じ学校で別のクラスだけれど「親友」だそうです。「親友」という言葉の純粹な響きが胸に沁み、「たくさん食べて大きくなあれ」と心の中で祈りました。

ボランティア募集 ご連絡先

電話
03-3341-9746

メール
ayakot@tochoji.org

担当：金剛地(こんごうち)・松村

こども食堂開催日

9月 3日(火)・15日(日)
10月 8日(火)・27日(日)
11月12日(火)・24日(日)
12月10日(火)・22日(日)

こども食堂にご賛同いただき、ご寄附くださった方々

矢野邦子様、前田高雄様、東長寺ボランティア会様、須田早野江様、坂井愛子様、匿名ご希望者21名様
皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。郵便振替口座へご寄付の際に、ご芳名を記載させていただける方は是非ご一報ください。

8月、こどもたちを対象にした催しが沢山ありました。一つは13日に文由閣駐車場で行った「小さな花火大会」。都会では路上や公園での花火が禁止され「家族で花火をしたことがない」との声を聞き、東長寺ボランティア会の協力で久々に開催しました。また22日には無償「キッズヘアカット」を初開催。こちらは千駄ヶ谷・四谷の美容室オーナー土井良昭さんにご協力頂きました。伝統の風物詩や交流がお寺を通してこどもたちへと伝えられました。

文由閣の花火会と キッズヘアカットの開催

引き続き、お米や食品、またはお米券や余っている商品券などを募集しております。尚、ご送付の際は、お手数ですが、内容・日程等を、事前にご連絡いただけますようお願いいたします。また、「こども食堂宛に寄付金を送金したい」という有り難いお声を受けて、振込口座を開設しています。

● ゆうちょ銀行(郵便局)から振り込む場合

[口座記号番号]00160-1-768735
[口座名称]トウチョウジコドモシヨクドウ

● 他の銀行から振り込む場合

[銀行名]ゆうちょ銀行 [店名]〇一九(ゼロイチキュウ)
[店番]1019 [口座番号]当座0768735
[口座名称]トウチョウジコドモシヨクドウ

[問い合わせ] 03-3341-9746 東長寺(担当:金剛地)

東長寺では、持続可能でよりよい世界を目指しながら「誰一人取り残さない」という国際目標「SDGs」の実現に身近なことから取り組んでいます。このページでは、こども食堂の活動を中心に、その他のSDGsアクションをご紹介します。

お知らせ

「ものめぐり市」へ 秋のお彼岸は ご好評につき再び開催！

春のお彼岸で好評だった東長寺の蚤の市「ものめぐり市」を秋分の日も開催いたします。檀信徒の皆様から寄せられた魅力的なモノを次の使い手の方へとつなぐバザーです。秋彼岸会法要ご参詣と併せお立ち寄りください。

会場…文由閣1階および3階
日時…9月22日(日・祝)
10時～16時

親睦囲碁大会 開催のお知らせ

今年も囲碁大会を開催いたします。檀信徒に限らず、どなたでも参加可能です。段位、級位も問いません。囲碁愛好の方々はお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。



開催日時
11月28日(木)10時半～15時半
大会形式 トーナメント方式 ※実施要綱の詳細は基縁の会方式に準ずる
参加費 3千円(昼食弁当・賞品代を含む)
参加方法 10月末日までにお電話にてお申し込みください。
03-3334-1974(担当:瀧澤玲子)
主催 東長寺基縁の会

計画中 秋の真光寺ツアー 延期します

前号萬亀にて予告した「秋の真光寺ツアー」ですが、準備と調整のため延期させていただきます。心待ちにしていた皆様、申し訳ございません。充実したツアーとなるよう準備いたしますので、楽しみにお待ちしております。

ぜひご参加を！

仏教文化講座

予約不要

参加費…無料 場所…本院地下「羅漢堂」
時間…16時半開場/17時開講
※10月・11月は休講いたします。

12月1日(日)

テーマ…「仏門に入るとは」

講師…太田賢孝師(曹洞宗 起雲山大龍寺)

「仏門に入る」という言葉を聞いたことがありますか？ ご自身が口にしたことはありますか？ そもそも仏門とはどこにあるのでしょうか。仏門と、仏門から始まる仏道のお話をします。

【講師プロフィール】

1996年、大本山永平寺にて修行。駒澤大学大学院博士課程を経て、曹洞宗特派布教師。少年院での坐禅指導、子ども食堂、仏教電話相談等にも従事。

再び計画中 清涼院ツアーも 計画しています

昨年の秋に開催し、ご参加の皆様にご好評をいただいた清涼院・気仙沼ツアー。結の会新規ご入会者様、ご紹介者様を対象に来年春再び開催することを検討中です。詳細は追って萬亀にてご案内いたします。

計画中 賛助の窓口について

前号萬亀にてお知らせしたこれらの護持について、賛助の窓口開設に向け準備・検討を進めております。次号萬亀にてご案内いたします。

客席の子どもたちが歌って踊って自由に楽しむ音楽会♪ クラシックミニコンサートを本堂で開催しました



「音楽を心の栄養に」と始まった東長寺の親子向け音楽会。今年は5月の週末に3回にわたり開催いたしました。出演はフェローオーケストラ有志の皆さん。毎回、たくさんのお客様で賑わい、演奏後には楽器に触れて楽しむ体験タイムも設けました。

開催済

山内行事のご報告

■新盆合同法要(7月7日)

今年 は七夕の開催となりました。35°Cに届く猛暑日でしたが、本堂の座席がすべてうまるほどのご参列があり、初めてお迎えになるお盆のご供養をご一緒におつとめいたしました。



新盆合同法要の様子

■孟蘭盆会法要

(7月13日、8月11日)

七月孟蘭盆会法要は曇り空の連休初日、日差しは少ないものの蒸し暑い一日となりました。ご参列の皆様もご一緒にお経を唱和して、7月・8月共に法要を厳修いたしました。

新任僧侶のご紹介

はじめまして

小寺洋泉 おでらようせん



広島県三原市の請福寺(しょうぶくじ)から参りました、小寺洋泉(おでらようせん)と申します。この度

ご縁があり本年六月より東長寺さまに勤めさせていただくこととなりました。

私が僧侶になったきっかけは、住職をしていた父が亡くなったことです。父が亡くなって半年くらいたつたところで、父のお坊さんの先輩が突然訪ねてきて、「明日から修行に行ってください」と言われました。その当時私のお寺の近くには三人の尼僧さんがいらしたのですが、そう言われるまで私がお坊さんになるという選択肢があるなんて夢にも思っていませんでした。突然のことでしたが、不思議とあっさり修行に行こうと決め、愛知専門尼僧堂で安吾することになりました。そこでの修行生活は涙がでることもありましたが、同じ仏道をあゆむ

覚悟をした仲間にも恵まれ無事修行を終えることができました。

修行を終え自坊に戻りましたが、そこからはまた新たな修行のはじまりでした。右も左も分からない私が、すぐに住職となりました。いまやつと十三年が経ちますが、その間たくさん大きな出来事がありました。

今にも倒れそうだった鐘樓堂を建て直したり、晋山式(住職就任の行事)をしたり、水害で参道や石垣が崩落したり。田舎のお檀家さんの少ない小さな小寺ではとても大変なことでした。それでもその都度お檀家さんはもちろんご縁のあるご寺院さまやたくさんの方の優しい気持ちに触れることができ乗り越えてまいりました。

しかし、ここ数年のコロナ渦で寺院と僧侶の在り方ががらりと変わってまいりました。お葬式も家族だけで執り行うことが増えたり、お寺の

行事も縮小になったりと僧侶としての仕事の場がどんどんなくなってきました。

今後の寺院の運営を考えると、これからお寺はどうなるのかな、何かしなくては、と焦る気持ちだけ募っていきました。

そんな時、東長寺さまでのこのご縁を頂戴しました。東長寺さまは東京でも以前よりも新しい取り組みをされているお寺と伺い何かヒントがあるのでは、とお世話になることを決めました。まだ2ヶ月目ですが、お葬儀やご法事を務めさせていただいていると、スタイルが変わっても故人への想いは変わらずあなたかいものだと感じています。

これまで東京とはほぼご縁のないところで生活していましたが、東京の生活は不安でしたが、東長寺の皆様のおかげで楽しく過ごさせて頂いています。

まだまだ未熟な私ですが、日々ところを込めてお勤めさせていただきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひ致します。

集まる・学ぶ

寺のあるくらし

ひと月に1度、お寺で過ごす予定を入れてみませんか。
新しい出会いや気付き、ちょっとした学びを探しに、ぜひお寺へお越しください。

※印の付いた教室・同好会に新規参加ご希望の方はお電話にてお問い合わせください

仏教に触れる
集いとイベント

①「坐禅会」

坐禅は、曹洞宗にとって最も大切で基本的な修行です。初めての方も、お坊さんと坐禅してみましよう。

参加費・・・お布施(300円程度)

場所・・・本堂

開催日・・・9月14日(土)・28日(土)

10月12日(土)・26日(土)

11月9日(土)・23日(土)

12月21日(土)

時間・・・18時より



坐禅会のイメージ

過ごしやすい気候になる秋にこそ、坐禅を始めてみましょう。坐禅は授戒式以来という方もお待ちしております。



お経の会の様子

仏教や経典を学ぶ本を少しずつ読み上げ、学んでいきます。

②「写経の会／お経の会」

般若心経を丁寧な書き方で書いていく写経の会と、仏教の本を読み上げて学ぶお経の会の2つを同時開催しています。

参加費・・・各会千円

場所・・・本院書院

開催日・・・9月20日(金)

10月11日(金)※第二週開催

11月15日(金)

12月20日(金)

時間・・・11時より

※写経の会、お経の会は別々の会となります。最初に合同でお経を読んでもらいます。最初に合同でお経を読んでもらいます。最初に合同でお経を読んでもらいます。

③「仏教讃歌を歌う会」

仏教の教えを知る「仏教讃歌」を合唱形式で歌う同好会です。

参加費・・・2千円

場所・・・本院カフェきあん

開催日・・・原則第三金曜日

時間・・・14時より

※先生のご都合で、第三以外の金曜日になる場合もあります。

「寺カフェ」

お茶やコーヒーをいただきながら、東長寺につとめるお坊さんたちと交流しましょう。開催中は好きな時間にお越しください。



寺カフェのイメージ

各種教室と同好会

※以下の会は休会いたします。
お掃除ボランティア
※以下の会は閉会となりました。
折り紙教室、水彩画同好会

「ヨガ」

文由閣の落ち着いた空間にて行うヨガ。運動量が異なる2種類のクラスがあります。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費・・・千五百円

場所・・・文由閣 5階慈徳堂

開催日・・・9月29日(日)

11月9日(土)

12月14日(土)

クラスと時間・・・(各回75分)

①流れるように動こう！

フローヨガ 9時45分より

②ゆっくり丁寧に動こう！

ハタヨガ 11時30分より

定員・・・各回8名(①②の参加者

合計4名より催行)

※お手数ですがヨガマットをご持参ください。1000円ショップなどで販売されているものでも十分です！
※10月は休会いたします。

【太極拳】

深い呼吸とともに、ゆったりとした動きの中から、体軸を整えていきます。年齢を問わず、生涯を通じて楽しむことができます。

参加費… 300円

場所… 文由閣 3階講堂

開催日…

9月4日(水)・11日(水)・18日(水)
10月2日(水)・9日(水)・23日(水)
11月6日(水)・13日(水)・27日(水)
12月4日(水)・11日(水)・18日(水)

時間… 10時半より

【碁縁の会(囲碁)】

静かな空間に碁を打つ音が響く、集中と交流のひとつとき。

※11月に碁縁の会主催の親睦囲碁大会開催します！詳しくは11ページをご覧ください。

参加費… 無料

場所… 本院カフェきあん

開催日… 9月12日(木)・26日(木)

10月10日(木)・24日(木)

11月14日(木)・28日(木)

※28日は親睦囲碁大会開催日

12月12日(木)・19日(木)

※年末の為、繰上げ

時間… 12時半より

【そば打ち同好会】

ご興味のある方はお電話にてお問い合わせください。

連絡先… 担当 舟木

04-2001-0711

文由閣サロン

いずれも文由閣1階にて開催します

【テーブル茶道】

流派にとらわれず、自分のためにゆっくりお茶を点ててみましょう。道具の用意もごさいます。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費… 3千円

(お茶、季節のお菓子付)

開催日… 9月10日(火)

10月15日(火)

11月19日(火)

12月17日(火)

時間… 14時半から16時迄

定員… 8名

※お気軽にやりのお道具があれば、ご持参ください。

【テーブル華道】

四季折々の草花で、暮らしに彩りを添えましょう。

道具、花の用意もごさいます。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費… 3千円(花材費込)

開催日… 9月17日(火)

12月24日(火)

時間… 14時半から16時迄

定員… 8名

※使い慣れた生花鉢をお持ちの方はご持参ください。

※3ヶ月毎の季節開催です。

【お習字教室】

毛筆・硬筆どちらでも基礎からしっかり学べます。はじめての方も気負いなくご予約ください。

経験者の方は上達に合わせたお手本に取り組みます。

事前予約制(お電話にて1週間前迄)

参加費… 2千円

開催日… 9月9日(月)

10月7日(月)・21日(月)

11月11日(月)・25日(月)

12月9日(月)・23日(月)

時間… 14時半から16時迄

定員… 8名(参加者1名より催行)

【リブウェル・サロン】

今をよりよく生きるために、人生の終わりの時について前向きに学びましょう。

事前予約制(お電話にて当日前迄)

参加費… 無料

時間… 10時から12時迄

(個別相談を含む)

定員… 10名

連絡先… 結の会事務局

開催日とテーマ…

9月10日(火)「どうする？終活の費用」

9月24日(火)「チャート図から分かる、自分の終活」

10月8日(火)「生命保険を活用する終活」

10月22日(火)「遺言を手段にした終活」

※11月・12月の開催詳細は結の会事務局にお問い合わせください。

※リブウェル・サロン、終活セミナーの詳細については、萬亀に同封のちらしもご確認ください。

※来山の際は文由閣でひとやすみ

ご来山の際は文由閣でひとやすみ



山内行事

2024.9月 — 12月

「ついで」たち法要

「日時」9月1日(日)・10月1日(火)

11月1日(金)・12月1日(日)

各日、18時30分開始

毎月ついでたちにおつとめする、その月に亡くなられた方を偲ぶご供養です。読経では戒名を読み上げ、参列の皆様で水の苑に燈明を流す「萬燈供養」をいたします。檀信徒のみならずどなたでも参列いただけますので、故人とゆかりのある知り合いの方やご友人もぜひお誘いください。

授戒式

「日時」12月1日(日)

お釈迦様より伝えられた戒律を授かり、仏弟子となる儀式です。縁の会・結の会会員で未授戒の方を対象に通常年2回厳修しています。今年は結の会へのご入会が多数ございましたので、12月も開催することになりました。すでにお申し込みをいただいている方には詳細を追って別送にてお知らせいたします。

秋彼岸会

「期間」9月19日(木)〜25日(水)



秋分の日を中日とし、前後3日間を合わせた計7日間が彼岸会の期間となります。ご先祖を供養する期間として、お墓参りや善行を心がけましょう。
●お墓参りは、本院・文由閣いづれも開門時間内にお参りください。

秋彼岸会法要

左記の日程にておつとめいたします。万障お練り合わせの上、御参詣並びに御焼香くださいますようご案内申し上げます。

「日時」9月22日(日・祝)

午前の部：10時半受付

11時打ち出し

午後の部：13時半受付

14時打ち出し

●参列のための電話予約は必要ございません。出欠は御とうばのお申し込みとともに、萬亀に同封の「申し込みはがき」にてお知らせください。

●ご参列の有無にかかわらず、萬亀に同封の「申し込みはがき」より、御とうばのお申し込みを承っております。秋彼岸会法要にて、志主のお名前を読み上げ、ご供養させていただきます。詳細は以下枠内をご確認ください。なお、御とうばをお申し込みにならない場合は、「申し込みはがき」の返信は無用です。

秋彼岸会法要 御とうばのお申し込み方法・ご注意

申し込みはがきについて

宛名の面に、ご住所・ご芳名・電話番号を必ずご記入ください。切手は不要です。施主氏名にはフリガナをふってください。

御とうば代金および回料御志納方法

来山時にご持参いただくか「現金書留」又は「郵便振替」よりお選びください。

現金書留をご利用の場合

① 萬亀に同封の「申し込みはがき」に必要事項をご記入ください。

② 現金書留専用の封筒を郵便局窓口で購入いただき、「申し込みはがき」と代金を同封の上、発送してください。

※必ず「申し込みはがき」を現金書留封筒に同封ください。

郵便振替をご利用の場合

① 萬亀に同封の「申し込みはがき」に必要事項をご記入の上、投函ください。

② 萬亀に同封の「払込用紙」にお名前、連絡先をご記入の上、払込手続きを行ってください。

※必ず萬亀に同封の「払込用紙」をご利用ください。

お申し込み締切日 **9月13日(金)必着**
郵便事情が悪くなり、配達にかかる日数が以前より大変長くなっております。なるべくお早めにご投函ください。

その他

●お檀家御塔婆は1本5千円、花とうばは1本2千5百円です。花とうばは、連名不可とさせていただきます。

山内大施食会法要

今年よりお檀家様、縁の会・結の会の会員様と一緒に左記の日程にて開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

【日時】11月3日(日・祝)

正午より 受付・昼食接待

13時 講演

「輪島塗の歴史、現状、輪島のこれから」

株式会社 輪島屋善仁

代表取締役社長 中室耕一郎氏

14時 山門大施食会法要

【お檀家の皆様】

●お檀家の皆様には別途詳細のご案内書をお送り致します。ご参列並びに御塔婆のお申し込みは、案内書に同封のがきにて**10月15日(火)必着**でお知らせください。

【「回向料」随意(当日受付にてお納めください)】

●当日はご参列の皆様にお弁当をご用意しております。ご出席の方の人数を必ずご記入くださいますようお願いいたします。尚、ご参列なさらず御塔婆のみのお申し込み

みも受け付けております。

●ご欠席の場合、御塔婆代金及び回向料は案内書に同封の封筒に入れ、塔婆申し込みはがきと共に現金書留にてお送りください。尚、施食会法要は、郵便振替は利用できませんのでご了承ください。

【縁の会・結の会の皆様】

●縁の会並びに結の会会員の方にとっては初めてのご法要になることと存じます。

●ご参列の皆様には、ご供養の証として、五色に彩られた施食幡に左記のような書式にてお名前を記入し、水の苑回廊または本堂内陣に掲げます。ただし、色の指定はできかねますのでご了承ください。

東長太郎之先祖代々諸精霊

●当日はご参列の皆様にお弁当をご用意しております。また、ご参列に付添人が必要な場合は、付添の方のお弁当をひとつ千円をご用意いたします。準備の都合上、ご参列のお申し込みは**10月15日(火)必着**で萬亀に同封の「申し込みはがき」

にてお知らせください。

「施食幡申込料」おひとりにつき5千円(当日受付にてお納めください)

●ご参列なされない場合にも施食幡の申し込みを受け付けております。法要にて、志主のお名前を読み上げ、ご供養させていただきます。お申し込みの場合は、施食幡申込料及び回向料を現金書留にて以下の手順で御志納ください。

① 萬亀に同封の「申し込みはがき」に必要事項をご記入ください。

② 現金書留専用の封筒を郵便局窓口で購入いただき、「申し込みはがき」と代金を同封の上、発送してください。

●施食会法要は、郵便振替は利用できませんので、ご了承ください。

一万象供養感謝祭

この法要では生きとし生けるすべてのもの、またあなたを取り巻く世界すべてに感謝し、供養をいたします。特に暮らしのパートナー、家族の一員だったペットのご供養につきまして、この法要に限り、花とうばも承ります。

尚、縁の会・結の会会員で33回忌を迎えた方の、弔い上げ並びに多宝塔納骨法要「多宝塔諷経」を併修いたしますので、ご家族の方々は左記日程をご確認の上、合わせてご参列ください。ご遺骨は当山にてあらかじめ納骨させていただきますことをご了承ください。

【日時】11月23日(土・祝)

10時 多宝塔諷経

場所…多宝塔

10時半 受付

11時 万象供養感謝祭

場所…慈嶽堂(文由閣5階)

【「回向料」随意(当日受付にてお納めください)】

●ペットご供養の花とうばは、どんな様でもお申し込みいただけます。ペット共葬をお約束した結の会の方に限らず、ご希望の方はお電話にてご用命ください。

●秋彼岸会や大施食会など、季節の大きな法要の時には郵送にてお布施をお預かりした際に、受取済みの連絡を個別に差し上げることができません。誠に申し訳ございませんが、あらかじめご了承ください。



靴下着用用のお願い

まだまだ残暑が厳しい季節。普段は素足でお出かけになる方もいらっしやると存じます。山内でお履物を脱がれた際には、素足のままではなく靴下などを着用してお上がりくださいますようお願いいたします。

東長寺 基本情報

■開門時間について

9時から17時までといたします
(ついでに法要開催日を除く)。

■電話での対応

9時半から17時までといたします。

【代 表】03-3341-9746

【縁の会】03-3353-6874

【結の会】03-5315-4015

■御葬儀、年回忌の法要について

山内葬儀、出張葬儀、年回忌法要
(参列者なしの場合を含む)もおつ
とめしております。詳しくはお電
話にてお問い合わせください。

■お墓参りについて

開門時間内にお参りください。また、
墓所において、害獣・害虫による
被害が発生しております。せつか
くのお供え物ですが、お参りが終
わったあとはお持ち帰りください
ますようお願い申し上げます。

■ついでに法要について

毎月ついでに、その月に亡くなら
れた方のお名前を読み上げ、ご供
養しております。どなたでも予約な
くご参列いただけます。

●法要開始18時30分

■花とうばについて

山内法要へのご参列の有無にかか
わらず、花とうばを随時承つてお
ります。詳しくは左記をお読みい
ただき、お電話またはFAXにて
お申し込みください。

【電 話】03-3341-9746

【FAX】03-3341-2150

●お申し込みの際に、次の①～③
をお知らせください。

①故人のお名前

②施主のお名前

※FAXの場合は、ふりがなも

記載ください。

③花とうばの本数

●施主は連名不可です。

【代 金】1本2千五百円

●お支払いは現金書留にてご郵送
いただくか、次回ご来山の際に
ご持参ください。



読者のひろば

今回は6月・7月にお寺で開催した「葬儀説明会」に参加された皆様のアンケートからご紹介します

参加した皆様に聞きました！

どんな式にしたいのか、
本人の希望を元気にうちに
周りと話しておくのが
大切ですね！
(40代・女性)

万が一の時の安心に
つながりました
(70代・女性)

葬儀について
理解が深まりました
(50代・女性)

すでに葬儀の
生前契約を済ませているが、
内容確認ができて
よかった(70代・男性)

これからの時間を
もう少し考えてみたいと
思います
(70代・女性)

聞いて
安心しました
(80代・女性)

今まで
解らないところが
よく分かった
(90代・男性)

開催後に「分かりやすかった」とのご感想を多数いただきました。
個別でのご相談はいつでも承っています。
ご参加できなかったという方も、お気軽にお問い合わせください。

次号予告

萬亀

2024年12月号 vol.148

【特集】
よりよく生きる
ヒント

※内容は変更になる場合があります。

萬亀紙面でお手紙やメールの交流をしませんか。
暮らしのなかで出会った「誰かに伝えたいこと」を
萬亀編集部宛にお送りください。

メール info@tochoji.org

おはがき・お手紙 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34 東長寺「編集部」宛

参詣の皆さまへ

山内では安心して参りいただけるよう清掃・消毒・換気に留意しております。ご来山の際には引き続き、風邪や季節性インフルエンザなどが重症化しやすい高齢の方への配慮をお願いいたします。

永代供養墓

結の会のご案内

現代人の生き方に 「ペット共葬」という選択を

2023年より結の会で開始した「ペット共葬」は、
ひとりの人とペットを結ぶ新しい葬送のかたちとして
多くの方にご支持をいただいております。

ペットの遺骨が手元にある方、いまペットはいないけれど飼ってみたいとお考えの方、
すでに縁の会に入会済の会員様も、「ペットの今後」が気になっている方は
ぜひ一度ご相談いただければ幸いです。

人生の大切なパートナーとして今ペットと暮らす方へ、
また、かつてペットと共に生きてきた方にも
ペット共葬が安心をもたらす選択肢となりますように。



ずっと、一緒にいよう。

資料請求や個別の見学予約も随時受け付け中です

会員様はもとより、未入会のご家族やお知り合いなど東長寺にご興味のある方もご遠慮無く、ご連絡いただければ幸いです。

「結の会」の詳しい情報はこちら

<https://tochoji.info/>



お問い合わせはこちら

TEL. 03-5315-4015 電話受付時間
9:30~17:00(日曜・祝日も受付)

MAIL toiawase@tochoji.org

どんなことでもお気軽にお問い合わせください

縁の会会員の皆様へ

結の会にて受け付け中の「ペット共葬」や「樹林葬」は、縁の会会員様も契約変更によりお申し込みいただくことが可能です。

詳しくは、文由閣に常駐の結の会事務局スタッフをお訪ねいただくか、上記のお電話またはメールアドレスまで、お問い合わせください。



東長寺寺報 萬亀

2024年9月号(第147号)

発行所: 曹洞宗 萬亀山 東長寺

発行日: 2024年9月1日

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34

(代表) TEL.03-3341-9746 FAX.03-3341-2150

(縁の会) TEL.03-3353-6874

(文由閣・結の会) TEL.03-5315-4015



www.tochoji.jp

このパンフレットは
FSC®森林認証紙
を使用しています。

FSC®認証は責任
ある森林管理を認
証する制度です。

